

# 2019年企業グループ別 ゴルフ場保有ランキング

トップは  
アコーディア・ゴルフ-NXグループ  
3位以下のランク変動をもたらす

本誌姉妹紙『隔日刊ゴルフ特信』は毎年、ゴルフ場企業の保有ランキングを発表しており、今回は大手企業グループのトップが入れ替わった。

今年4月1日時点のゴルフ場を保有する企業グループのランキング（国内既設ゴルフ場のホール数基準）は、アコーディア・ゴルフ-NXグループがトップとなった。

アジア系ファンドのMBKパートナーズ・グループが、今年3月にネクスト・ゴルフ・マネジメント（NX、元・オリックス・ゴルフ・マネジメント株、旧・日本ゴルフマネジメント株）を傘下に収めた。39コース、792Hが加

わったことで、アコーディア・ゴルフ（AG）の44コース、936ホール（以下Hと略）、アコーディア・ゴルフ・アセット合同会社（AGA）の90コース、1906Hを合わせ173コース、3634Hとなった。

NXの吸収に伴い、AGとAGAを含む3社のゴルフ場企業グループ名を「アコーディア・ゴルフ-NXグループ」と表記することにした。なお、NX以外の同グループの1年間の動向は、AGが1

コース減少する一方2コース増加し、差し引き1コース、27H増であった。

2位グループは前年まで4年連続トップだった平和・PGMグループ。前年同期からは1コース減、2コース増で差し引き1コース増、H数としては36H増としたが、NXの39コースが加わったアコーディア・ゴルフ-NXにトップを譲った。ただ運営会社単位としては、アコーディア側がAG137コース、NX39コースとそれぞれ分かれているので、PGMの140コースが最多となっている。

## 3位以下の変動大きく 2グループが圏外からランク イン

3位以下については、前年4位だった当時のOGMがMBKパートナーズに吸収され、アコーディア・ゴルフ-NXグループが保有トップとなったことを受けて、順位が繰り上がった。

3位には前年5位の西武グループが29コース、675HとH数に変動ないものの繰り上がり、以下、4位市川ゴルフ興業グループ（28コース、531H）、5位東急グ

ゴルフ場企業グループゴルフ場保有ランキング推移（国内既設H数）

ラン ク	2000年			2005年			2010年			2019年		
	グループ名	コース 数	H数	グループ名	コース 数	H数	グループ名	コース 数	H数	グループ名	コース 数	H数
1	西武グループ	42	1,044	ゴールドマン・サックス	85	1,800	アコーディア	131	2,761	アコーディア・ゴルフ・アセット (AGA)	90	1,906
2	日東興業グループ	30	666	ローンスター	78	1,737	PGMグループ	123	2,691	アコーディア・ゴルフ (AG)	44	936
3	スポーツ振興	30	585	西武グループ	46	1,134	オリックスグループ	38	774	NX (元・オリックス)	39	792
4	東急グループ	29	585	富士カントリーグループ	19	477	西武グループ	28	675	平和・PGMグループ	138	3,033
5	日本ゴルフ振興	28	576	東急グループ	24	468	市川造園土木	29	579	西武グループ	29	675
6	富士カントリー	22	540	市川造園土木	20	396	東急グループ	28	558	市川ゴルフ興業グループ	28	531
7	地産グループ	16	414	太平洋グループ	18	351	ユニマツグループ	22	414	東急グループ	26	522
8	緑営グループ	18	369	ミサワグループ	16	297	太平洋グループ	17	333	チェリーゴルフグループ	18	333
9	大洋緑化グループ	14	279	大洋緑化グループ	14	279	明智GC・房総CCグループ	10	297	太平洋グループ	17	333
10	太平洋グループ	13	261	新日本観光グループ	9	243	リゾートトラストグループ	12	270	ユニマツグループ	18	324
注:グループ名はランキング当時				外資系	188	4,050	外資系	320	6,838	外資系	228	4,732
				韓国系	11	216	韓国系	45	900	韓国系	47	927
				その他外資	177	3,834	その他外資	275	5,938	その他外資	181	3,805

グループ（26コース、522H）と、保有ゴルフ場H数は前年同様ながら順位が2つ繰り上がった。  
6位は、チェリーG一庫C（18H、兵庫）と播州CC（同、同）2コースの閉鎖でグループゴルフ場数が18コース、333Hに減少したチェリーゴルフグループ。  
7位はチェリーゴルフグループと同じH数ながら17コースと少ない太平洋クラブ。今年8月1日からは八千代GC（18H、千葉）の運営を始める発表し、保有20コースを目指す目標としていることから、今後が注目される。  
8位は18コース、324Hのユニマツグループ。4月以降、民事再生計画のスポンサーに就任したり、小浜島CC（18H、沖縄）の星野リゾートへの売却を発表したりと保有コースは変更の予定がある。

9位から10位はH数がユニマツトグループと同じ324Hながらコース数の違いで9位シャトレーズ、10位GCEグループとなった。13位は1コース閉鎖と1コース売却のリソルグループが11コース、234Hに入った。  
また動きのあったところではJGM（ロイヤルGCグループ）が規模縮小も、11コース、216Hで16位。韓国産業洋行（エイチ・ジェイ）は山代GC（36H、石川）を取得して9コース、207Hとなり、前年の27位から大きくジャンプアップした。同グループのオーナーは韓国のゴルフ関連企業でもあるが、日本の千葉夷隅GCや米原GC（ともに千葉）など実績のあるコースを核に着実にグループコースを増やしている。  
川島グループも安達太良CC（18H、福島）を加え10コース、198Hで前年の23位から18位にジャンプアップしてグループ上位ランク入りした。元々は静岡県浜松市の非鉄貴金属リサイクルの会社だが、地元のショートコース経営等から近年、ゴルフ場経営を拡大した。  
189Hで大和ハウス工業と加森観光が並んだが、コース数が10コースと多い大和ハウス工業をランク上位の20位とした。  
一方、MBKパートナーズ・グループと韓国系の韓国産業洋行がゴルフ場H数を増やしたことから外資系ゴルフ場数は228コースで4732Hとなり、前年同期よ

り42コース、873H増加している。  
 上位ランク圏外をみても、平成23年末にゴルフ場事業に初進出し

たバンリユーゴルフ(徳山CC、東の宮GC等経営)がコンスタントにゴルフ場を傘下に収めるなどの動きがあり、今後もゴルフ場保有

2019ゴルフ場企業グループ国内既設ゴルフ場保有ランキング

国内既設+数 ランク	2019	2018	2019年国内既設		2018年国内既設		増減		この1年間の動向と今後の見込み(括弧内はホール数)							
			コース数	H数	コース数	H数	コース数	H数								
1	3	2	173	3,634	133	2,815	40	819	◆は営業休止や再開等で保有数に関係ない、△は増加、▽は減少、▲は増加予定、▼は減少予定 フジテアの投資ファンド・MBKパートナーズ傘下。今回から3社グループを統合して集計。△ラビーム白浜GC(18)、△宇津峰CC(27)、四街道GC(18)、NX39コース。運営は176コース3706Hで18H換算205・9コース △ラビーム白浜GC(18)、△宇津峰CC(27)、四街道GC(18)、保有は18H換算52コース、AGA含む保有コース数は134コース2842H。他に運営受託等3コース22H含む運営は137コース2914H。※フジテアの投資ファンド・MBKパートナーズグループ傘下 2014年8月にフコデア・ゴルフからビジネスラスト(BT)により90コースの資産(ゴルフ場会社株式)を引き受け、保有は18H換算105・9コース 18H換算44コース、※フジテアの投資ファンド・MBKパートナーズグループ傘下 △大多喜CC(18)、レイクウッド大多喜CC、27、PGM総成GC(18)、レイクウッド総成CC(27)、△レオ高原GC(18)、保有は18H換算167・5コース、運営受託等含む運営は140コース(18H換算172コース3096H)、▲富士御殿場GC(18)							
										1	138	3,033	137	2,997	1	36
										2	90	1,906	90	1,906	0	0
										4	39	792	39	792	0	0
2	1	6	29	675	29	675	0	0	市川金次郎氏の個人事業で従来の市川造園土木グループとは独立して展開							
										1	138	3,033	137	2,997	1	36
3	5	3	28	531	28	531	0	0	市川金次郎氏の個人事業で従来の市川造園土木グループとは独立して展開							
										6	28	531	28	531	0	0
4	6	4	26	522	26	522	0	0	市川金次郎氏の個人事業で従来の市川造園土木グループとは独立して展開							
										7	26	522	26	522	0	0
5	8	9	17	333	17	333	0	0	※チェリーG猪名川CはH29年4月1日営業再開、▽チェリーG一庫C(18)、播州CC(18)2コース閉鎖で減少							
										9	17	333	17	333	0	0
6	9	10	18	324	18	324	0	0	※横マルハンの子会社 ▲八千代GC(18)							
										10	18	324	18	324	0	0
7	11	12	16	324	16	324	0	0	▲小浜島CC(18)、▲21センチリーC雷岡C(18)							
										12	16	324	16	324	0	0
8	12	13	14	324	14	324	0	0	※チェリーG猪名川CはH29年4月1日営業再開、▽チェリーG一庫C(18)、播州CC(18)2コース閉鎖で減少							
										13	14	324	14	324	0	0
9	13	14	10	297	10	297	0	0	△阿蘇東急GCは熊本地震の影響でH28年4月中旬から営業休止中も30年7月9日で再開、31年4月18日営業再開							
										14	10	297	10	297	0	0
10	15	16	11	234	13	270	-2	-36	▽備前GC(18) H30年1月から閉鎖、裾野CC(18)							
										15	11	234	13	270	-2	-36
11	16	17	12	243	12	243	0	0	▽JGMサラレックFGC規模縮小(36→18)							
										16	12	243	12	243	0	0
12	17	18	9	207	8	171	1	36	△山代GC(36)							
										17	9	207	8	171	1	36
13	18	19	10	198	9	180	1	18	△安達太良CC(18)							
										18	10	198	9	180	1	18
14	19	20	8	198	8	198	0	0	△安達太良CC(18)							
										19	8	198	8	198	0	0
15	20	228	4,732	186	3,859	42	873	内訳は韓国系47コース2927H(2コース増・54H増)、その他外資181コース3805H(40コース増・819H増)	内訳は韓国系47コース2927H(2コース増・54H増)、その他外資181コース3805H(40コース増・819H増)							
										20	10	189	10	189	0	0

H31年4月1日段階、更生法・更生法でのスポンサー内定段階(手続中)のゴルフ場はスポンサー側のグループに集計していない、MBKパートナーズ系3社は1グループで集計し外資系でカウント。